

高砂大学校同窓会だより

第 90 号

高砂大学校同窓会

〒920-0901 金沢市彦三町1-15-5

金沢市中央公民館彦三館二階

電話 (076)261-8101

会 長 泉 屋 和 雄

事務局長 高 澤 雄 一

編集担当 岡 田 修

<http://www.takasagoob.net>

写真提供:デジカメクラブ

ひがし茶屋街



新春を迎えて

金沢市長 村 山 卓

新年あけましておめでとうございませう。

高砂大学校同窓会会員の皆様には、健やかに新春をお迎えになられたことを心よりお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日頃から会員相互の親睦を図るとともに、文化や芸能など幅広い分野における生涯学習活動に熱心に取り組んでおられます。私も一昨年、妻と共に「生きがい演芸発表会」に参加させていただきましたが、皆様と共演できたことは大変嬉しく、そして貴重な体験であったと心に残っております。

また、共同募金活動をはじめとする社会奉仕活動や、金沢マラソンの沿道応援などの本市事業にも力強いご協力をいただいております、ここに深く敬意と感謝の意を表する次第です。

皆様が生涯にわたって学び続けられる環境を整えることは、非常に重要な課題です。これは、本市がまちづくりの指針として

策定した行動計画「未来共創計画」の中でも主要事業に掲げており、今後も皆様の活動を支援していきたいと考えています。

人生を通して学び続けることは、新たな知識や技能を身につけるだけでなく、心身の健康を維持し、充実した生活を送ることができます。会員の皆様には、この同窓会活動から得られた経験を、是非、地域や若い世代へ積極的に引き継いでいただき、その積み重ねが、地域コミュニティを大切にする金沢の活力あるまちづくりにつながっていくものと確信しています。教育と学びは、世代を超えた絆を生む大切なものです。

結びに、新しい年が泉屋会長をはじめ高砂大学校同窓会の皆様にとって実り多き一年となり、また、会員の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念するとともに、高砂大学校同窓会のさらなる発展をご期待申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



豊かな未来のための学びを

金沢市教育長

野口 弘

高砂大学校同窓会の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

皆様方には、健やかに新春を迎えにられましたことを心よりお慶び申し上げますとともに、日頃から本市の生涯学習の推進に多大なご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

生涯学習は、教育の重要な一環です。人々の価値観、行動の変容など時代の変化が著しい現代において、私たちが直面する多くの課題に対し高齢者の皆様が十分に対応できる能力を持つことは、地域社会全体の活力を高め、生涯学習の裾野が広がっていくと確信しております。

金沢市教育委員会では今年、教育を取り巻く状況の変化や課題を踏まえ、これまでの諸計画を一本化した「金沢市教育振興基本計画」を新たに策定いたします。

時代の変化に伴う皆様の学習ニーズを把握し、金沢らしい個性ある学習文化都市づくりに取り組むなど、皆様が豊かな人生を送る手助けとなる

ような様々な施策を展開していく所存です。

また、金沢市ではこれまで、全国に先駆けて「宇宙教育推進計画」を策定するなど、宇宙教育の推進に力を注いでまいりました。この取り組みが評価され、昨年、「月の石」などの展示が教育プラザ富樫で実現したところであります。市民の皆様がこれらを見ていただくことで、子どもから大人まで宇宙・天文への夢や希望が育まれるとともに、豊かな未来の創造につながっていくと考えておりますので、是非、高砂大学校同窓会の皆様におかれましても宇宙を視座とした学びに触れていただければ幸いに存じます。

結びに、新たな年を迎えるにあたり、泉屋会長をはじめ会員の皆様のみますすのご健勝と、高砂大学校同窓会のさらなる発展、そして皆様の行動力ある活動がより一層充実したものとなりますよう、ご祈念申し上げます。げ新年のごあいさつといたします。



新年を迎えて

金沢市教育委員会生涯学習課

課長 小川 晶子

明けましておめでとうございます。高砂大学校同窓会会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。能登半島地震の発生から二年が経過しましたが、未だ復旧・復興の途上におられる方々に心を寄せ、家族や友人と穏やかに過ごせることの有難さを改めて感じるお正月であつたように思います。

さて、昨年四月に生涯学習課長に着任して以来、様々な活動に生き生きと取り組まれる同窓会の皆様のお姿に接し、大いに刺激を頂いております。特に、八月に開催された作品発表会では、会員の皆様が情熱を注いで作り上げた数々の作品や企画を拝見し、学び続けることの大切さ、素晴らしさを実感いたしました。

また、能登復興支援バス研修旅行の実施など、能登半島地震からの復興支援に息長く取り組んでおられることにも、深い感謝と敬意を表したいと思います。

昨年を振り返りますと、横綱大の

里の誕生や陸上競技一〇〇Mでの清水空跳選手の世界記録更新など、地元の若い世代の世界的活躍という大変うれしいニュースがあつた一方で、異常気象やサイバー犯罪の増加など、私たちの生活への影響が心配なニュースも多くありました。

不確かで予測が困難な時代といわれる今、これまでの常識に頼るだけでなく、新しい情報にアップデートし、自ら考え行動することがますます重要と感じております。年齢を重ねてなお、新たな知識吸収に向けた学びへの熱意を持ち続け、会員相互の親睦と健康増進をはかり、社会の進展へ寄与することを目的とする同窓会の活動は、会員の皆様だけでなく、広く地域全体の生涯学習推進やウェルビーイングにつながるものと確信しております。

結びに、泉屋会長をはじめ会員の皆様方のご健勝と、高砂同窓会のさらなる発展と活動の充実を心から祈り申し上げます。新年を迎えてのごあいさつとさせていただきます。



新年のご挨拶

金沢市中央公民館

館長 松本 直

新年明けましておめでとうございます。

高砂大学校同窓会の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より、生涯学習の推進や地域活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年も同窓会の三大行事である、「すこやか体育まつり」・「作品発表会」・「いきがい演芸発表会」に参加させていただき、会員の皆さまの活き活きとした笑顔あふれる様子を拝見し、こちらまで笑顔と元気をいただくことが出来ました。

さて、能登半島地震から丸二年を迎えましたが、今なお多くの地域で復興が思うように進まず、厳しい生活を強いられている方々が少なくありません。そのような中で、高砂大学校の皆さまが義援金や支援活動を通じて暖かい励ましの思いを届けられたことに、心から敬意と感謝を申し上げます。高砂大学校で培われた

「共に学び、共に支え合う」精神こそ、地域に希望の灯をともしめるものです。

昨年五十五年ぶりに大阪で開催された大阪・関西万博では、「いのち輝く未来社会」というテーマで一五八の国・地域、七つの国際機関が一堂に介し、共に未来社会について考え、交流、対話する機会となり、持続可能で安心して暮らせる地域づくりの重要性が改めて認識されました。中央公民館としても、皆さまと共に学び支え合いながら、健康づくりやデジタル化、環境への取り組みなど、多様な学びの場を充実させてまいります。

本年も、高砂大学校同窓会の皆さまが長年培ってこられた経験と知恵を活かし、地域の活力へとつなげていただければ幸いです。皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、高砂大学校同窓会のますますのご発展を祈念いたします。本年もどうぞよろしく願いたします。



新年を迎えられて

金沢市中央公民館彦三館

館長 田鶴 直人

新年あけましておめでとうございます。高砂大学校同窓会の皆様が健やかに新春をお迎えのことを、心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返ると、憲政史上初の女性総理・高市氏の誕生や、坂口氏と北川氏が自然科学系で日本人研究者として同時にノーベル賞を受賞するなど、記憶に残る出来事が多くありました。会員の皆様にとつて、どのような年だったのでしょうか。

同窓会や各クラブでは数多くの行事や活動が行われ、毎年恒例の同窓会三大行事も盛大に開催されました。それぞれの行事が成功裏に終わったことは、私たちにとつても大変嬉しい出来事でした。これらを通じて、会員相互の交流や連携が深まったことでしょう。参加された皆様の笑顔は、今も脳裏に焼き付いております。多くの方々が集まり、互いに分かち合い、友好を深める姿は、何事にも代えがたい微笑ましい光景でした。

また、令和六年に発生した能登半島地震や豪雨災害の復興に際し、同

窓会として継続的な支援活動が実施されました。その結果、皆様の温かい思いが形として現れ、被災された方々に手を差し伸べることができたと推察いたします。このような活動を通じて、高砂大学校同窓会の結束力が一層強まったのではないのでしょうか。

本年は、六十年ぶりの丙午（ひのえうま）にあたる年です。東洋占術では「丙」は太陽を表し、生命力に溢れ、活発なエネルギーを象徴します。また「午」は真夏の火の性質を持ち、エネルギーで情熱的、行動力に富んでいるとされています。高砂大学校同窓会も丙午にあやかり、さらに力強く輝き、会員の皆様が熱くエネルギーに満ちた活動を展開されることを期待いたします。

この新しい年が皆様にとつて健康で、笑顔が絶えない一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。また、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新春のごあいさつとさせていただきます。



新年のご挨拶

高砂大学校同窓会

会長 泉屋和雄

新年明けましておめでとうございます。
ます。

新しい年の初めに当たり会員皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

あの能登地震が発生してまる二年が経ちました。私達の活動では「かんばろう！能登」をモットーに、いくつかの支援活動を行ってきました。この間少しづつ復興に向けて懸命の努力がなされてきましたが、まだまだ復興は道半ばです。

私達の故郷石川県は大きく傷ついてしまいました。改めて我々に故郷とは何か？と考えさせられます。郷土の誇る小説家・室生犀星はそんな「ふるさと」を想う詩「小景異情」の中でこう書いています。

『ふるさとは遠きにありて思ふもの。そして悲しくうたふもの：』

薄幸な生い立ちを持つ犀星の詩は素朴で傷ついた者だけがわかる繊細さと優しさに溢れていました。

十月の演芸発表会のフィナーレで童謡「ふるさと」を能登へのエールを込めて全員で合唱することができ

ました。

『兎追いかの山 小鮒釣りしかの川：』日本人の心の原風景！日本の歌、「ふるさと」の歌といえは真つ先に思いつくのがこの歌です。今年も引き続き能登への復興支援を大事な取り組みとして行いたいと思っております。会員皆様の一層のご協力をお願いする次第です。

今年、令和の年の干支は「午（うま）」です。馬は本来、常に前進する動物であり、後ろを振り返らずに前へと進むその姿は、夢に向かって突き進む人の象徴でもあります。干支の中でも、馬は前向きなエネルギー・成功・繁栄のシンボルとして日本人に長く親しまれてきました。

新しい年を迎えて干支「午」に因んで夢や希望を持つて皆さんと手と手を携えて歩んで参りたいと思います。

役員一同、今年も一歩ずつ同窓会活動に取り組みますので変わらぬご支援、ご協力を重ねてお願いしてご挨拶とさせていただきます。

詩歌



写真提供：生け花教室

高砂沙羅の花句会

秋風や流罪の島の星まばら	講師 坂下信子
秋茄子畑が趣味の好好爺	赤井景子
頬なでる心地のよさの秋の風	唐木茂男
秋麗目細通りに迷ひけり	橋野澄江
秋風や古き日記を取り出して	河村裕
疾風来てアクロバットの赤とんぼ	中村成一
かなかなを遠く聞きつ、窓閉じる	中野尚志
恙無く色なき風の過ぎる庭	渡辺修身

ガーパーラの花言葉は、「希望」「前進」「輝き」です。上へ伸びる葉とガーパーラの花が、希望に満ちた令和8年をイメージしています。皆様にとって、健やかで輝かしい年となることを願っています。

高砂雪椿句会

いつ見ても愛相よく揺る吾亦紅^{われもこう}
 法事済み心安らぐ秋彼岸
 秋蟬^{あきぜみ}や野辺に送りし子に涙
 強風^{じょうふう}の上空^{じょうくう}のどか鰯雲^{いわしぐも}
 晴天や敗戦^{やそどし}八十年^{やそどし}忘れまい
 青空や心豊かに萩の道
 秋樂し眠れぬ夜のラジオかな
 最後かと思ふ秋刀魚^{さんま}を焼きにけり

講師 南邦夫
 酒井 高三
 宮本 房義
 宮本 順治
 花岡 鉄男
 斎藤 きよみ
 嶋崎 陽子
 作田 節子

高砂^{つわ}石落句会

平穏な余生に感謝初明り
 地震あとの復興見守る春の月
 万感の思ひを乗せて初明り
 玄関に孫の声待つ福寿草
 朝茶事に一服添える初音かな
 耕して実りを待ちぬ老夫婦
 清清と生きる道差す初明り
 鶯の初音を遠く微睡みぬ
 騒がしき地上を他所に春の月

原 篠義景
 表 和子
 中 野吉隆
 上 島ミイ
 杉 江友江
 広 瀬照子
 高 松素子
 西 川眞素美
 松 田翠風

高砂OB短歌会詠草

嗚呼わたし四つの命を生きてゐる草苺咲いて 二千歩あるく

講師 島田鎮子

猛暑日は日の出の前の庭仕事草取り、水遣り、夏野菜採る

吉村輝子

アメリカがあだこうだとやかましい地球が狭くなりてしまいぬ

福田美代子

テレビには涼しい高原親子連れ我はソファでアイスを食べつつ

中富重子

八十年の時は過ぎてても空襲の恐怖忘れずあの日を忘れず

國枝明美

古き寺を歩こう歩幅を狭めつつ老人会は石段登る

宮岸妙子

柘植老いて根元の猿の腰掛に影を落とせり今夜の月は

有川明美

来るものか行くものか死はおれんじの真夜中の月半解凍

太田良子

独り立ちし羽ばたく孫を見送りぬ見守る我も夢もらいたり

蘆原洋子

呼ばれても直ぐには立てずよめきて情けなき齢になりてしまえり

鍋島千佳子

終活とも断捨離かとも思いつつ手が止まるばかり思い出ばかり

松波宏子



第9回
[6月18日水]
謡曲教室



勇壮な物語が目につかぶ
「鞍馬天狗」を披露



夫婦の絆と長寿を祝う
めでたい「高砂」を披露

第10回
[7月8日火]
らくらくピアノクラブ



『旅人よ (加山雄三)』の
合唱と演奏中のみなさん



アンコールでキーボードアンサンブル
『思い出のアルバム』を演奏

7月4日金

能登半島復興
支援ツアー

珠洲方面



珠洲市の金田副市長 (左2人目) へ
義援金を手渡しました。



焼酎工場前で集合写真



崩れたまのの見附島



焼酎貯蔵タンクを見学



須須神社で集合写真

8月1日(金)～2日(土)

第43回 作品発表会



煎茶翠会のお茶席で集合写真



能登半島復興支援ツアーの
寄書きコーナーでの市長



着物リサイクル会



チャリティバザーコーナー



アート作品を鑑賞中





英会話レッスン会

10月17日(金)
第47回
演芸発表会



合唱クラブ



歌謡クラブ



ひまわり会



ハーモニカサークル



悠々健康クラブ (リズムダンス)



オカリナクラブ



太極拳クラブ



らくらくピアノクラブ



かがやき懐メロクラブ



フラダンスクラブ



謡曲教室（高謡会）



民謡会



端唄会



金沢ひびき会



草笛愛好会



ダンス教室



悠々健康クラブ（民謡舞踊）



J・ハープクラブ



語り部九官鳥の会



ダンス同好会



ダンスサークル



同窓会役員一同

湖東三山コース



彦根城



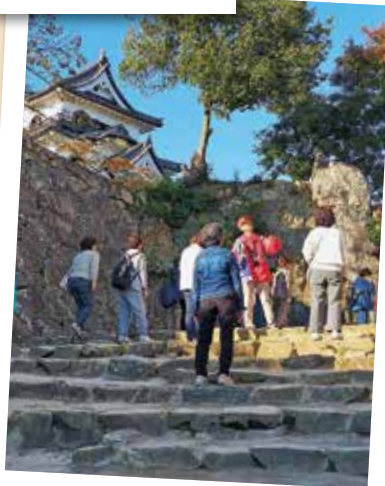
西明寺



老舗酒造大雪溪



美しい木々の階段を
登る金剛輪寺



彦根城へ向かう階段



碌山美術館



金剛輪寺



穂高神社

10月29日水

秋の日帰り
研修旅行

安曇野コース



敦賀ムゼウム



西福寺

三方五湖コース



気比神宮



素晴らしい見晴らしの
レインボーライン展望台

エトセトラ
etc.



赤い羽根共同募金
[10月1日(水)松ヶ枝福祉館で出発式]



長寿の祝い [9月18日(木)]



スマホ教室を熱心に受講中
[計18回開催]



すこやか健康講座 [計10回開催]



看護学生臨地実習 (社交ダンスのダンスサークルが受入) [10月15日(水)]



リーダー研修会 [6月10日(木)]



金沢マラソン応援
[10月26日(日)]

活動報告

同窓会活動報告

歌に踊りに、会場がひとつに、大盛況 演芸発表会

演芸交流担当副会長

一二期一組 藤農 照一

第四十七回生きがい演芸発表会を十月十七日(金)に開催しました。雨に悩まされた昨年とは打って変わり、今年は見事な秋晴れに恵まれ、まさに「晴れ舞台」と呼ぶにふさわしい一日となりました。

開演当初こそ客席は三割ほどでしたが、徐々に席は埋まり、最終的には約一、三〇〇人もの方々にご来場いただき、大盛況となりました。

幕開けは、今話題の郷土力士の応援歌が始まり、金沢びき会の皆様の演奏が会場を一気に盛り上げてくださいました。

演芸発表会の魅力は、何と言ってもその演目の多様性です。艶やかな歌謡曲や民舞、心に響く謡曲や朗読、リズムミカルなダンスに美しいハーモニーの合唱まで、次々と繰り広げられる素晴らしい演目が続き、客席からたくさんの明るい笑顔や惜しみない拍手が有りました。今年は新しいグループ(英会話レッスン会)

も加わり、新鮮な風を感じさせてくれました。

中川さん(九二期二組)や笹野さん(九二期二組)の熱唱がありました。幕前での出演者が少なかった点は今後の課題ですが、ベテラン勢の熱唱は舞台を大いに盛り上げてくれました。年齢を重ねてもなお、舞台にかけるひたむきな情熱と日頃の鍛錬の成果には、心から敬意を表します。

この発表会が成功裏に終わられたのは、ひとえに同窓会関係者、運営委員、そして先輩方のお力添えのおかげです。昨年の経験を活かし、演芸担当役員一丸となって準備を進めました。

昨今の会員減少による費用面の厳しさを踏まえ、会議室の削減や運営委員の時間短縮(午前と午後に分業化)といった工夫も行いましたが、皆様のご協力のおかげで進行も予定通りに進み、安堵と共に感謝の気持ちでいっぱいです。

シニア世代が生きがいを感じ、輝き続けるこの素晴らしい発表会を、次の世代へと繋いでいくことは私たちの使命です。「経験は自信、継続は力なり」の言葉を胸に、今後にも改善を重ねながら、この大切な伝統を守り育ててまいります。

大きな事故もなく無事に終了できましたこと、心より感謝申し上げます。

謝申し上げます。同窓会会員皆様の日頃の活動へのご理解と、関係者皆様のご協力のおかげです。本当にありがとうございます。



美しいハーモニーで会場を魅了した合唱クラブの皆さん

第四十三回作品発表会を盛大に開催

作品展示担当副会長

一二三期三組 笹尾

登

第四十三回作品発表会を八月一日(金)、二日(土)の両日彦三館において盛大に開催しました。

初日の開会式では村山金沢市長、小川金沢市生涯学習課長、そして松本中央公民館長、田鶴彦三館館長をご来賓としてお迎えし、泉屋同窓会会長の開会の挨拶に続き村山市長のご祝辞を賜り、緊張感の漂う中、華々しく発表会の幕開けをすることができました。

今回の発表会では「わたしたちが情熱を注いで創り上げた

作品！自信をもってお届けします」をテーマに取り組み、近年では最高の三六五作品を展示することができました。いずれもプロ顔負けのアート作品に入場者の皆さんにも存分にご堪能いただけたのではないでしようか。

また、交流プログラムでは骨粗鬆症財団による骨密度測定も過去最高の二八四人の方が受診され大変好評で、財団の方も満足して東京にお帰りになりました。

また、お茶席につきましては、和室の漏水で一部部屋の使用ができないなど課題を抱えながらの開催となりましたが、抹茶席、煎茶席ともに各席ほぼ満席となりとても好評でした。

今回の発表会は熱中症警戒アラートが発令されている中での開催となりましたが、幸い入場者で症状を訴えた方は居られず、また怪我等の発生も無く発表会を終えることができましたことが何よりも有難く嬉しく思いました。冷たい飲み物を用意し多くの方に飲んでいただいたことも幸いしたように思います。

発表会の開催に向け各種会議や説明会を行い、また会場設営から撤収まで五日間連続での対応となりましたが、この間公民館の皆さま、多くの作品を出品いただいた皆さま

ま、円滑な発表会運営に精力的に取り組んでいただいた運営委員の皆さまを始め多くの関係の方々に支えられ開催することができましたことに厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



情熱を注いで創り上げたアート作品

能登の復興を願い
能登半島復興支援ツアー
(珠洲方面)を企画

同窓会会計

一二三期三組 斎藤きよみ

少し日が経ちましたが、暑さ本番の七月四日(金)、高砂同窓会メンバー八三名はバスで珠洲を目指しました。これは前回三月の輪島訪問に続き二回目の復興支援ツアーです。大震災、豪雨災害と立て続けに被害にあわれた方々を何とか応援したいという会員の気持ち、そして、前回輪島で

「皆さんが来て下さることが励みになる」といわれた被災地の方々の思いを繋ぐと、同窓会は二回目として珠洲訪問を計画しました。

まず見附島の見える公園で、私たちを待ち受けてくださったのは副市長さんはじめ案内兼語り部のみなさんでした。持参した義援金をお渡しし、会長と固い握手。すぐ近くに立つ案内所も津波で内部は使われていません。島の形が軍艦に似ていることから、別名「軍艦島」とも呼ばれていました。地震の影響により、南東側半分が崩落し、わたり石も鳥居もない状態です。熱いお話からも能登のシボルであることは変わりありません。

続いて道の駅「すずなり」にて昼食をとりました。能登の魚介をちりばめた「福幸（復興と懸けて）丼」を味わいました。次々と地元の人、工事関係者と思われる方々がやってきて本当にお客さんなりのなか、こちらも我がことのようにうれしくなりました。更に奥へ進み、日本海側一帯の守護神須須（珠洲）神社へ行きました。鬱蒼とした長い参道に立つ灯籠や祠はほとんどが倒れたままになっていました。本殿前で権禰宜さんよりお話を伺い蟬折れの笛等宝

物も見せてもらいました。

その後、能登蒸留所・日本発酵化成を見学しました。巨大なタンクが傾いたり、土台が崩れたりしています。貯蔵タンク群のいくつかは支援ボランティアの力を借りて起こしましたが、とても全部はできない。再建するには他の場所を見つけないといけないと聞いて壊れたままになっている蒸留・濾過機の屋根をみてため息がでました。

わずかの訪問でしたが、この復興ソングのように、能登の復興を心から願い、できる支援を続けようと誓い金沢に向かいました。

「能登の翼」 作詞：椿 れい 作曲：渡辺俊幸

海と森と里山と 心優しい人が住む町 今は色を無くしたけれども このまぶしい季節 あのはじける笑顔 Ah もう一度 能登の翼を広げて飛ぼう：

「他人事ではない」では済まされない。被災体験から学ぶ、本当に必要な備えとは

同窓会事務局理事 一二期三組 久保田恵子

去る六月十日（火）、石川県教育振興会会長であり、高砂大学校の講師でもある堅畑政行氏に「防災・減災を考える三つの視点」孤立集落の被災体験に学ぶ」と題して、講演していただきました。

昨年一月一日、堅畑さんはご実家である輪島市に帰省中に、被災されました。

戸数一〇戸、定住人口一三人、平均年齢七十五歳以上の超高齢化集落ですが、地震発生時は帰省客も多く、普段の三倍以上四六人が孤立する事となりました。

道路は寸断され、電気も水

道も使えない、何よりも情報が全く入らない状態となつてしまったのです。そのような状態の中で、四六人は運営委員会を立ち上げました。

元大工さんを中心とした設備班、現役看護師を中心の医療班は、避難者リストの作成や日々の健康観察を、給食班は一日二食交替で食事の準備に当たったということです。

約二週間の孤立集落の被災体験の中で、堅畑さんが声を大にしておっしゃったことは、「力を合わせなければ、準備も組織も機能しない」ということです。

森本・富樫断層地震の発生が危惧される今、私達にとつても被災すること、孤立してしまうことは決して他人事ではありません。

正しく想定し、役立つ準備をし、協力して対応することの大切さを学ぶ、良い機会となりました。



堅畑先生の問いかけに、受講者は防災への意識を新たにしました

令和七年度すこやか健康講座について

福祉・渉外担当副会長 一二期三組 木村 昭雄

今年度は日頃より健康について気にかけている内容を四六講座より一〇講座を選びすこやか健康講座を「国立病院機構金沢医療センター」の協力のもと開催しました。期日、内容、参加人員は別表のとおりです。

今年度は第二回到院長先生が「大災害時の災害関連死を知り、これを防ごう」のテーマで講演を行いました。能登半島地震の経験にもとづくお話にあらためて日頃どのような心構えが必要かを考えさせられました。DMATの隊員として参加され「災害は何時おこるかわかりません。過度に怖がらず冷静な判断でリスクを最小限に抑える」ことが



金沢医療センターの院長先生が能登半島地震での経験をもとに講義されました

望ましいとのこと。すこやか健康講座の知識をいかし健康寿命を延ばし、これからの生活を快適に過ごしたいものです。

一〇講座を終えて国立病院機構金沢医療センターよりお礼と来年もよろしく願います。と要望されました。今後同窓会会員の健康維持のため続けられることを望みます。

回数	受講月日	すこやか健康講座名	受講人数
第1回	5/30(金)	すい臓がんも、早期に発見します!!	25
第2回	6/30(月)	胃がん健診、大腸がん健診受けましょう!!	31
第3回	7/2(水)	大災害時の災害関連死を知り、これを防ごう!	20
第4回	7/3(木)	生活習慣に関係した、肝臓の病気って何!?	19
第5回	7/17(木)	もしパナゲームで考えよう!わたしにとって大切なこと	19
第6回	8/6(水)	お口と全身の深〜い関係	19
第7回	8/29(金)	関節リュウマチについて	29
第8回	9/3(水)	最新の糖尿病治療とは	34
第9回	10/9(木)	すい臓がんを知る	36
第10回	10/9(木)	いまさら聞けないNST (自分の足で歩き続けよう!)	41
合 計			273

看護学生の臨地実習受け入れについて

福祉・渉外担当副会長
一二二期二組 木村 昭雄

今年度の看護学生の受け入れは石川県立総合看護専門学校に八名を、高砂煎茶翠会、高砂端唄会、高砂悠々健康クラブ、高砂ダンスクラブ、の協力のもと実施しました。また国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校の生徒七五名を十月十五日(水)高砂歌謡クラブ、高砂民謡会、高砂謡曲教室、高砂ダンスサークル、十月二十三日(木)高砂煎茶翠会、高砂マクラメサークル、高砂Jハーブクラブ、高砂フラダンスクラブ、高砂英会話レッスン会、高砂ダンスクラブ、のもと二日間にわたっておこなわれました。

生徒の感想を聞いてみると歌ったり、踊ったり、お点前を経験したりと、見学と思っていたら実際に体験出来て楽しかった。また最後に質問に快く答えてくれてありがたく、レポート提出に非常に役立ちましたとのこと、お礼を言われました。

受けて頂いたサークルの感想は、若い人達と楽しく過ごせた、いい刺激をもらえた、また来年もよろしく願いますと好印象を受けました。

した。

印象に残ったのは男子生徒(六十歳)の言葉です。今年六十歳で定年を迎え退職しこれからの人生を考えた時に、資格を取り三年後に看護師として勤務し七十五歳まで元気に働く計画です、勉強はついていくのは大変ですが頑張っていくとのことでした。当人から話しかけてくれ、高砂大が資格が無いので入れないが、六十五歳になったら入ってみたいとのことでした。

今年の臨地実習受け入れを終えてこの行事が意味があるものと再確認されました。



看護学生とサークルメンバーが熱心に質疑応答中

令和七年度長寿祝い贈呈式について

福祉・渉外担当副会長
一二二期二組 木村 昭雄

長寿祝いの会は九月十八日(木)に彦三館三階で行われました。祝いの会は二年毎にお

こなわれ今年には昭和十八年生まれの一一人が対象者となります。六九人の参加者、三人のクラス会長と共に村山金沢市長、松本中央公民館館長、田鶴彦三館館長が来賓として三名参加されました。高澤事務局長の開会の言葉に始まり、市民憲章の唱和、高砂大学の歌を全員で歌いました。

泉屋同窓会長が挨拶し、村山市長が祝辞を述べられました。



謝辞を述べる川西幸夫(104-2)さん

長寿祝いの対象者を代表して一〇四期二組の川西幸夫さんに記念品が贈られ、川西さんは「これまで培ったことを次世代につないでいけるよう、同窓会が今後とも、良い形で継続していくよう微力ながら貢献していきます」と謝辞を述べました。

引き続き祝賀演技が披露されました。アマチュアの落語家グループ「津幡おきらくご

の会」のメンバーによる「秘伝書」「初音の鼓」「遊山舟」の三席が披露され会場に笑いの声が続ぎ渡りました。

次回の開催は二年後、昭和十九年生まれの人を対象者となり行われる予定です。

スマホ講習会を開催して

同窓会理事
一二六期三組 白崎 彰

講習会に参加された皆さんの様子を見て、いろいろ感じたことがあります。特に心に残ったのは、新しい技術に対する「知りたい」という気持ちと「難しい」という戸惑いが一緒になっていたことです。

講習では、AIの機能を使って、アプリに話しかけて操作する方法を体験してもらいました。「スゴいね」、「こんなこともできるの!」と、皆さんが楽しそうに声を上げていたのが印象的でした。

スマホが電話だけでなく、生活を便利にしてくれる道具だと感じていただけ様です。しかし、マイナンバーカードを読み込む様な少し複雑な操作になると、「あれ?」と手が止まる方もいました。最新の機能は便利ですが、慣れるまで時間がかかり、「使いこなせない人もいる」という現実も目の当たりにしました。

それでも、皆さん途中で諦めず、周りの人やスタッフに聞いたりしながら最後まで頑張ってくださいました。

講習が終わった後、「楽しかった」、「また参加したい」という言葉をたくさんいただきました。とても嬉しく思いました。この講習会は、スマホの便利な使い方を知ってもらうだけではなく、皆さんがデジタル社会で一歩前に進むための手助けになったと感じています。



熱心に受講中のみなさん

出演者と観客が一体「ランチタイム・オンステージ」

同窓会事務局理事

一一五期三組 久保田恵子

昨年六月から、新たな試みとして「ランチタイム・オン

ステージ」を開催しております。これは十二時半からのランチタイムに、一階ロビーで高砂グループの皆様に、歌や楽器演奏などをご披露していただくものです。

スペースの関係上、最大で九〇名程の皆様にしかご覧いただけないのですが、何よりも出演者と観客の距離が近く、一緒に歌ったり、楽器に合せて歌ったりなど、出演者と観客の競演が最大の魅力となっています。

六月十八日(水)の第九回ランチタイム・オンステージは「高砂謡曲教室」の女性の皆様に、ご出演いただきました。

おなじみの「高砂」ほか「鞍馬天狗」「紅葉狩」「羽衣」の四曲をご披露いただきました。柳瀬会長が分かりやすく解説していただいたお陰で、情景が目につくたび、謡曲ワールドに引き込まれるひと時でした。

また七月八日(火)は「高砂らしくらくピアノクラブ」の一八名の皆様に、ご出演いただき、ソロあり、アンサンブルあり、弾き語りに、キーボード伴奏の合奏ありと、バラエティに富んだパフォーマンスをご披露いただきました。

これまでで最大の観客の皆さんにご覧いただき、アンコールまで起こる盛り上がりでした。

今後も月一回程度「ランチタイム・オンステージ」を開催予定です。高砂グループの皆様のご参加を、お待ちしております。



演奏中のらくらくピアノクラブのみなさん

雨にも負けず 金沢マラソンで響いた、私たちの応援エール

体育担当副会長

一一三期二組 瀧本 知子

十月二十六日(日)、今年の金沢マラソンは冷たい雨が降る中での開催となりました。しかし、私たちが集まった近江町いちば館前の応援場所は、寒さを吹き飛ばすほどの熱気に包まれていました。

朝七時半、同窓会スタッフは横断幕やのぼり旗を掲げ、応援の準備は万端。ランナーとして参加するご家族や仲間を待つ皆さんの表情は、期待と緊張で輝いており、そのワクワク感は私たちにも伝わ

てきました。

ランナーたちが目の前を駆け抜けていくと、私たちの応援にも一層熱が入ります。「ファイト!」「がんばれ!」と声を張り上げる応援団のリードは本当に素晴らしく、一体となってエールを送る時間はとても楽しく、最高でした。

後日、今回は過去最多の一五、五八九人が出走し、雨の中一四、七九〇人の方が見事に完走されたと知りまし

た。完走率は九四・九%のこと。ランナーの皆さん、完走おめでとうございます、そして声援の皆さんお疲れ様でした。

他の場所にて沿道応援にご協力いただき、ありがとうございました。参加された方には、会員証へ記念のスタンプを押印いたします。お手数ですが、同窓会事務所まで会員証をご持参ください。



雨の中、ランナーに力強いエールを送る同窓会スタッフ一同

赤い羽根共同募金終了のご報告と御礼

高砂ボランティア会副会長

一〇六期一組 蔵田 武男

令和七年の赤い羽根共同募金活動は十月十七日(金)の演芸発表会の活動で終了することが出来ました。暑い中募金箱を胸に募金を呼びかけて頂いた会員、募金された会員、同窓会の皆様のお陰で、募金額は前年実績より一万五千円少ないものの二〇万円台に乗せる事が出来ました。

泉屋会長はじめ高砂同窓会の役員、会員各位に心からお礼申し上げます。

そもそも共同募金は昭和二十二年終戦の混乱期の中で生活困窮者と戦災孤児の激増など社会的経済的混乱の中、国民助け合い運動の一環として始められました。

シンボルの赤い羽根は、かのロビンフッドが赤い羽根を付けて勇敢に冒険を続けた事にちなみ、又アメリカのクリーブランド市で共同募金の領収書代りに善行と勇気の象徴として赤く染めた水鳥の羽を渡した事に習い、日本でも鶏の羽を赤く染めてシンボルとしたそうです。

ボランティア会では四十年続く歴史が有りますが、私の十一年間の活動の中でも感じ



文化ホールで募金活動中のボランティア会のみなさん

ていますが共同募金に対する市民の関心が年々薄れ募金活動の成果も厳しくなっています。

これは行政の社会福祉に対する対策強化、又災害に対する色々な支援活動等共同募金をしなくてもとの考え方が広がっている事が原因だと考えられます。

しかし金沢市社会福祉協議会によれば学習支援教室の運営、高齢者対策等、まだまだ募金が必要とのことでした。本当に募金の必要が無くなるまで暫く続けて行く必要があります。

又募金に参加した会員から良い経験が出来たとお聞きし、会員に取ってそんなメリットも有るのかと改めて来年も是非続けていかねければと考えております。

「百聞は一見に如かず」 見て、触れて、感じて、 味わう旅

演芸交流担当副会長
一一六期一組 藤農 照一

十月二十九日(水)、雲一つない秋晴れの空の下、恒例の同窓会バス研修旅行が開催されました。私たち参加者はバス二台に分乗し、早朝六時四十分に出発。穂高神社、礪山美術館、そして老舗酒造の大雪溪などを巡る、心ときめく旅の始まりです。

最初に訪れたのは、創業明治三十八年の「老舗酒造 大雪溪」です。かつて皇室献上酒にも選ばれたという由緒ある蔵元を見学し、味を受け継ぐ人々のこだわりや精神に触れ、改めて伝統の重みを感じました。蔵元自体は大規模ではありませんが、昨今の日本酒ブームで海外からの観光客も増えているそうです。古民家を利用した趣のある直営店舗前では、五〇六銘柄の試飲ができ、参加者の皆さんからも「旨い!」と大変好評で、多くの方がお土産に買い求めていました。普段はあまりお酒を買わない私も、その美味しさについ柚子入りのお酒を手にとってしまった。次に向かった「大王わさび農場」では、旅の楽しみの一

つである昼食をいただきます。名物のわさび飯と、川魚(イワナ)の唐揚げはまさに絶品でした。北アルプスの美しい湧き水がわさび畑を潤す光景は、心洗われるようでした。年間を通して一三℃に保たれるという清らかな水に、思わず足をつけてみたくなるほどの心地よさでした。

お腹を満たした後は「穂高神社」へ参拝しました。穂高見命(ほたかみのみこと)を御祭神とし、古くから日本北アルプスの総鎮守として、また交通安全や産業安全の守り神として、多くの人々の信仰を集めています。ガイドさんからは、「他県からお参りする方は、住所と氏名を伝えないと神様にどこの誰か分からないと申せませんよ」と教わり、早速その通りに。皆様にもご利益がありますように(私だけでしょうか?)。併設の「御船会館」では、県の無形文化財である伝統の人形飾り物を見学しました。昔ながらの材料と素朴な技法で作られた作品は、手作りの温かみにあふれ、今にも動き出しそうな躍動感がありました。特に、御船(山車)の中央に飾られた歴史舞台の場面は壮観で、先人たちの思いを肌で感



木々に囲まれた礪山美術館

じることができました。

本日最後の見学先は「礪山美術館」です。ツタの絡まる教会風の建物がとても印象的でした。館内では、偉大な彫刻家・荻原硯山をめぐる人々の紹介や作品が展示されており、その芸術が生まれた背景にある力強い物語を感じることができました。特に、代表作「女」のモデルが新宿「中村屋」の創業者夫人であったというエピソードには、人と人との出会いの大切さや、作品に込められた内面の美しさを改めて感じさせられました。芸術好きな方にとつては、少し時間が短く感じられたかもしれませんが、感動を胸に帰路につきました。

今回のバス研修旅行は、心からリラックスできるだけでなく、仲間との交流を深め、好奇心や探求心を満たしてくれる、学びの多い素晴らしい一日となりました。

「百聞は一見に如かず」をまさに実感する、見て、触れて、感じて、そして味わう

(旨い!)旅でした。次回の研修旅行にも、ぜひ参加したいと思います。

日帰り研修旅行で湖東三山を巡って

同窓会会計
一一三期三組 斎藤きよみ

十月二十九日(水)、六九名がバス二台に分乗し目的地湖東三山を目指しました。湖東三山とは琵琶湖の東側の金剛輪寺、西明寺、そして今回は行かなかった百済寺の三寺を言います。錦秋の紅葉名所としても人気のコースです。

前日までの雨も上がり上々の行楽日和、バスの中もガイドさんの軽妙な話に皆さん我を忘れて笑いこけています。順調にバスは進み、最初の訪問地は松峯山金剛輪寺。奈良時代に聖武天皇の勅願により行基が開山した天台宗の寺院、本堂大悲閣は国宝です。まずはお約束の全員集合の記念写真、みなさんいいお顔で写っています。ラッキーなことに時間も早く貸し切り状態です。

山寺ゆえかなりの石段でしたが、バスが半分ほど上の駐車場まで上つてもらえて、少し楽をしました。残りの二〇〇段ほどは、地域の方々がつけた涎掛けの地藏さんが並ぶ

参道をゆつくり上がりました。本堂に座りご本尊と対座、心静かに参りできました。縁側に座ると丁度三重塔前の紅葉が見えます。血染めのみじといわれますが、少し早かったようです。それでも青空に映え、美しく照っていました。

次は天台宗の龍應山西明寺、本堂瑠璃殿はやはり国宝です。八〇段ほどの階段と書いてありますが、八〇段は八〇歩にあらず。両脇の美しい苔をみながらゆつくりと上がれます。途中の名勝庭園蓬萊庭を回ったり、不断桜（冬桜の一種）の小道を歩いたりしながら本堂に進みます。

こちらを解説してくださったのはとても元気のよいお坊さんで、生徒になったようによく頭に入りました。この三山とも鎌倉時代には最大三〇〇もの僧坊がありましたが、いずれも信長の焼き討ちにあり、難を逃れたわずかなだけが現在残るとのことです。



金剛輪寺の美しい木々の階段を上る参加者のみなさん

昼食は彦根四番町「赤鬼」でのすき焼き御膳で腹ごしらえをし、ちよつとまとまった時間が取れて土産探しにも精出し満足、いよいよ後半戦へとつります。

彦根城ではボランティアの方々の案内です。やはりそれぞれの方々の個性のある語り口で思わず歴史の世界に引き込まれてしまいました。一方で、口調はなめらか優しいが、足はどんどん進みます。石段を上り、六五度の階段もなんのその、あつという間に天守です。風を受けて窓から見渡す琵琶湖の風景は平和そのもの、大変でしたが来てよかったなあと思いました。

帰路は少し工事渋滞にかかりましたが、全員元気に終えることができたことが何よりの宝物です。皆様ご協力ありがとうございました。

秋晴れに恵まれた日帰り研修旅行 敦賀・三方五湖を訪ねて

体育担当副会長

一三期二組 瀧本 知子

十月二十九日（水）秋晴れの空の下、敦賀・三方五湖へ金沢駅を定刻通りに出発し、期

待に胸を膨らませながらバスは、トイレ休憩を取りながら福井県へと向かいました。

最初の目的地の三方五湖レインボーラインを通って湖の景色を体感しながら、山頂展望台からの三六〇度のパノラマビューの眺めは最高でした。下りのリフトは上りと違って時間がかかりました、乗車二分でしたが、大変混雑していました。敦賀港にダイヤモンドプリンセス号が停泊と理由が分かりました。

次に日本海魚市場の「日本海さかな街」にて楽しい昼食後、残り時間でお土産を買いに、同様の理由で混雑していました。

午後は、良如上人が開いた浄土宗鎮西派の寺院、西福寺を訪れました。現在は重要文化財の御影堂などが修復中でしたが、静かな境内には歴史の重みを感じられます。応仁の乱を避け都から移されたという貴重な文化財も所蔵されており、「七不思議巡り」と共に、また次回じっくりと訪れたいと思える場所でした。

続いて、復元された建物が印象的な「人道の港ムゼウム」へと向かいました。建物の中に入ってすぐにスクリーンを見てからの展示見学となりました。一九二〇年代には



素晴らしい景色の三方五湖展望台

ボーランド孤児が、一九四〇年代には杉原千畝氏の発給した「命のビザ」にてユダヤ難民が上陸、日本で唯一の港であり「人道の港」としての歴史を正しく知ることができて感動しました。

旅の最後は、国宝の鳥居で知られる気比神宮です。バスの中でガイドさんから説明があった通り、春日大社・厳島神社と並ぶ「日本三大木造鳥居」の一つで、その大きさと美しさに圧倒されました。

「北陸最強のパワースポット」と聞き、清々しい空気に包まれた広い境内を皆でしっかりと参りました。

今回ご参加くださった皆様のご協力のおかげで、思い出深い、素晴らしい研修旅行となりました。本当にありがとうございました。そして、お疲れ様でした。

サークル活動紹介

高砂悠々健康クラブで健康づくりを

高砂悠々健康クラブ 会長
一〇五期一組 西村香代子

高砂悠々健康クラブは、昭和四十七年十二月に発足し今年で五十三年を迎えます。多くの先輩方が築かれた歩みを引き継ぎながら「健康第一」をモットーに、元気な高齢者を目指し活動を続けてきました。

現在クラブ員は一一五名で、リズムダンス（火）・民謡舞踊（土）を原則週二回、月六回の活動をしています。高齢者にとつて、自分の居場所が地域にあるということはとても幸せなことだと思います。

私たちは、発表会・イベント等にも参加しています。参加は自由で、参加する人もしない人も一緒に体を動かし、仲間とのつながりを大切に、楽しい時間を過ごすことで運動への意欲も高まり心も体も元気になると思われます。

また、参加するために頑張った！楽しかった！という気持ちが大切で、笑顔で過ごすことが元気の毎日につながると思っています。

すこやか体育祭りでは「鯖街道」をユニークな振り付けで三十八人が元気に踊りました。演芸発表会では、リズムダンスの「ジャンバラヤ」では

衣装をまとい二八人が華やかに踊りまた、民謡舞踊は「百萬石音頭」を一二人が扇子を手に着物姿で艶やかに踊りました。

健康づくりは、日々の積み重ねが大切で、私たちは高齢者が楽しく運動をして、生きがいのある日常生活が送れることを目指して頑張っています。

これからも仲間と共に元気に、楽しく活動していきたいと思っています。



扇子を手に着物姿で艶やかに演技中

写真を楽しむ

高砂デジカメクラブ 会長
一〇二期二組 高田 進

写真は、出会いを写し込み残すことの出来る唯一の方法で、何時どこでどんな出会いがあるか分かりませんが、カメラを持つて良い出会いがあるようにとの思いで出掛け

てわくわく感の気持ちを持つて歩き回り、見慣れた場所でもその日の天気や時間帯により周りの状況が異なり、思わぬ感動の出会いがありその瞬間を切り取る楽しさがあります。

そんなわくわく感を持つて気楽に写真を撮る楽しみは私達のデジカメクラブの皆さんは、気負わずに思い思いの場所で写真を撮り、例会に写真を持ち寄り楽しんでおります。

年二回は撮影旅行を計画して出掛け、思い思いの写真を撮りながら交流を図るなど楽しさ、同じ場所でも写す人の思いが異なり例会に出てきた写真を見ると写し方が同じでないことが良くあり、見る目や感じ方で写真表現の違いに感じ入ることがあります。また、撮影旅行のもう一つの目的は、例会の短い時間では出来ない会員のひととなりを知ることや親睦を図る機会にもなりますので、これからも続けていきたいと思っています。

例会は原則、毎月第二、第四水曜日の午後一時三十分から二階の視聴覚室で開催しておりますので、興味のある方は気軽に傍聴していただき、ご一緒出来ればと思っております。

写した写真は、後で何度も見ることが出来る、思い出を振り返ることの出来る楽しさもあり、他には無い方法です。思い出作りと記録の手段

にこれほど気楽なものはないのではと思っております。このように気楽に楽しめる写真を撮る、これからも元気なうちに続けていきたいと思っております。



7月7日能登ワイン (デジカメクラブ)

安土城史跡めぐりと近江八幡研修の旅

高砂オカリナクラブ 副会長
一〇二期三組 野島 昭子

高砂オカリナクラブが発足して七年が経ち、これを記念して加賀藩祖前田利家にも多大な影響を与えた戦国の覇者織田信長の安土城址と、令和七年のNHK大河ドラマ「豊臣秀吉と秀長兄弟」が舞台となる近江八幡市を訪ね、八幡堀を散策しました。

安土城（現在は城址）は琵琶湖東岸の、近江の国蒲生郡安土山（現在の滋賀県近江八幡市安土町下豊浦）にあった、六年の歳月をかけて天正四（一五七六）年に築かれた日本の山城で、大型の天守

（現地では天主という）を持つ地下一階、地上六階建て、高さ約三二mのそれまでの城にはない独創的な意匠で、絢爛豪華な城だったそうです。城郭の規模は「天下布武（信長の天下統一事業）」を象徴し、山頂の天守に信長が起居し、家族も本丸付近で生活し、家臣（豊臣秀吉や前田利家等）は石段の途中に屋敷を構えていたといわれます。

「石段を馬に乗った信長が毎日、登り下りしていたのか」と、晴天の石段の下で見上げ、感無量でした。

「安土城天主信長の館」は、平成四（一九九二）年のスペイン・セビリア万博日本館のメイン展示物として出品された原寸大の安土城天主最上部五階六階部分を、内部障壁画と共に見学しました。約四五〇年前、先ほど見たあの安土城の石段の上に、このような黄金に輝く御城が建っていたとはとびつくりしました。

「袖振り合うも多生の縁」



「信長の館」の前で記念写真

「社交ダンス何か楽しそうに運動不足解消に、何か楽しいことを始めたい」そんなあなたにピッタリなのが、会員五〇人の「高砂ダンス教室」です。

これほど多くの人が集まるのには、理由があります。まず、レッスンは「初級クラス」「中級クラス」「ラテンクラス」の三クラス制。ダンスが初めての方も、ブランクがある方も、「初級クラス」の基本ステップからゆっくり始められます。

先生の分かりやすい指導と、仲間たちの温かいサポートがあるので、安心して練習できます。上達すると次の「中級クラス」へ進みます。音楽に合わせてステップを

パートナーと踊る楽しい社交ダンスは、いかがですか 現在会員募集中

高砂ダンス教室 副会長
一〇六期一組 坂下 啓子



演芸発表会で社交ダンスを披露中

ダンス教室のご案内	
練習日	毎週日曜日 PM13:00～15:00
場所	彦三館 3階大研修室
講師	松田 浩一先生 小川 清美先生
会費	年間 12,000円

踏めば、心も体もリフレッシューできるだけでなく、自然と背筋が伸びて美しい姿勢が身につきます。

また、新しいステップを覚えることは脳の活性化にも繋がります。そして何より、パートナーと呼吸を合わせ、仲間と笑い合う時間は、週に一度のかけがえのないひととき。こうした楽しさが、社交ダンスの大きな魅力です。

ホテルでの発表会や温泉旅行などの楽しいイベントもあり、サークル活動を通じて仲間と楽しい時間を過ごせます。

まずは見学だけでも大歓迎。私たちと一緒に、音楽とダンスのある素敵な日常を始めてみませんか？

OB歴史会一泊旅行紀行文 「飛鳥の地をたずねて」

高砂大学院OB歴史会 会長
同窓会相談役
一〇七期三組 藤堂 昭雄

去る九月二十五、二十六日、総勢四六名で日本人の心のふる里、飛鳥の地を訪ねた。飛鳥時代とは五九二年～七一〇年の約一二〇年間をいうのであるがこの時代は豪族連合体制を崩して大化の改新↓壬申の乱↓大宝律令制定と現在の日本国の基礎を築いた時代である。また今日の飛鳥の地には一つの物語がある。

昭和四十年代の初め頃、一個人が飛鳥の地を守りたいと私財を投げ打って、守る会を立ち上げて活動していたことが松下幸之助の知るところとなり、幸之助の仲介で時の総理佐藤栄作へ直訴して国の事業となり、国土交通省が通称「明日香法」の制定となったのである。

まず最初に法隆寺を訪れ、五重塔、金堂の裳階の位置や仏像の材質を確認した。幸い、OB歴史会の役員で建築に詳しい方、木材に詳しい方と揃っているので裳階の位置については色々なケースがあり、法隆寺の場合は一階軒下に裳階をかけ、しかも大和葺きという葺き方をしているとのこと、仏像の材質は櫟、

檜、楠であり、各々の特色の説明を受けた。

翌二十六日はいよいよ石舞台古墳の見学である。目前に大きな石を積み上げた石舞台古墳が出現。各人、巨石を触るなどして古墳の入口へと降りて玄室へ入ったが内側の壁面がきれいに揃えてあった。金沢城の打込みハギのような形態であった。しかしこれらの巨石をどのようにして積み上げたか謎であった。

そのあと高松塚古墳展示館、キトラ古墳展示館と見学したがいずれの古墳も人里離れた森の中にあった。高松塚古墳展示館では極彩色の朝鮮民族の女子群像、男子群像や四神図、副葬品をみた。キトラ古墳展示館では凝灰岩で造られた石室やその中に描かれている四神、十二支獣頭人身像、天文図（金箔で太陽、銀箔で月、赤道や黄道を示した円を備えており、本格的な中国式星図である）が見られた。いずれの古墳も七世紀末から八世紀初頭に描かれたものであるのだと殆ど飛鳥時代と被るのである。

以上、飛鳥の地を振り返ってみると本当に昔ながらの田舎の地に佇んでいるようであった。これは冒頭で述べた「明日香法」の諸制限の影響で高い建物が建てられない影

響であろう。今後もこの方針を貫いて貫きたいものである。



法隆寺前で記念写真

自然豊かな木曽路を満喫

高砂歩の歩のクラブ 理事
一〇八期一組 伊藤妙美子

十一月初旬、高砂歩の歩のクラブの『ツーデイウオーク』『江戸時代の旅情が息づく宿場町を歩く』が開催され、好天のもと会員三三名の皆さんに参加していただきました。

一日目は、早朝七時にバスで出発、ひるがの高原付近では紅葉と雪化粧の白山に歓声。社内での三択クイズに興じたり、お喋りしているうちに、昼食処「まごめや」に着。自慢の「あまご甘露煮」蕎麦、山菜等地元の味を楽しみました。

午後は藤村記念館を見学し、「若菜集」「夜明け前」の世界に触れ、馬籠宿周辺を散策。展望台より下り、岩田バス停へ。馬籠峠までの登り道

はバス。峠より下りは、徒歩で牧野家住宅、白木改番所跡、男滝、女滝を訪ね、夕方バスで昼神温泉到着。紅葉が見頃を迎えており、木々の彩りを眺めながらの歩き、秋の木曽路を味わう贅沢なひとときで、明治の文学を中山道の歴史が交わる世界に思いを馳せる事が出来ました。

夕食時は、新会員紹介、藤村に囲み初恋披露、二次会カラオケ大会等、温泉で一日の疲れを癒し参加者同士の交流もありました。

二日目、朝食バイキング、「今日も歩くぞ」としつかり食べ、バスで、前日の男滝まで戻り、徒歩で倉科祖霊社、康甲塚、つまご大橋を経て妻籠宿へ。下りの山路では、すれ違ふは、異国の人がばり：「こんにちは」「ハロー」「アニョハセヨ」など励ましの言葉が交わされ、まさかの国際交流印象的でした。落葉の音、名残りの山野草、トリカブト、玉紫陽花、仙翁がひっそり咲き、枝打ちされた杉や檜等の森の光の中を歩き、水の音、風の色に心が解ける思いでした。

妻籠宿では、街並みを散策し、本陣や南木曾博物館を見学し、栗ソフト、五平餅を味わう等、それぞれ秋の風情を満喫し、昼食をとり、身も心もお腹も満腹で帰路に着きました。

安全面では、熊対策として

事前の情報確認、鈴筒携帯を呼びかけ、単独行動を避け、人数点呼等留意し、皆様の協力と温かい雰囲気を支えられ無事、充実した二日間を終えられた事に感謝申し上げます。今回は二日間、二一kmのウォークでした。

健康づくりと交流を目的に楽しく歩ける会を企画したいと考えています。ぜひ歩の歩のクラブに入会し、共に歩ける事を願っています。



木曽路を満喫して、
藤村記念館前で集合写真

高砂らくらくピアノクラブの活動について

一二期三期三組 西本 幹夫

高砂らくらくピアノクラブ講師の笠間祐子先生のご指導のもと、全会員による合奏と個人演奏のためのレッスンが主な活動内容です。

レッスンは、毎月、第一と第三の火曜日であり、午後のレッスン（一組）と午後のレッスン（二組）になっています。



演芸発表会でキーボード演奏中

十月十七日（金）の生きがい演芸発表会では、四季に関する四曲を合奏しました。通常は一組と二組が各教室で練習を重ねていますが、最終レッスンは一組と二組の合同練習を行い、本番に備えました。（合同練習は一体感を発揮できるように二回行いました。）今回、演奏会の音量は観客席に充分に届いていると聞いており、良かったと思います。次回の演芸発表会の目標に向けて楽しく練習を重ねていきます。

きます。会員同志の交流も盛んで、仲良く楽しくやっています。

金沢市文化活動賞贈呈式を見学して

高砂寿雲書道会 会長

同窓会相談役

一二期一組 田中 清之

首記の件、本年度は十月七日（火）金沢市文化ホールにて実施されました。本年は四十五回目にて、畑中榮氏、戸丸彰子氏、阿部豊寿氏、金沢JAZZ連盟の三氏一団体が受賞しました。我クラブ講師の受賞は大変喜ばしい限りです。

講師の受賞は書家として、書の指導、書の古典を追求しながら作品を数多く発表すると共に書文化の普及に能登復興に「がんばろう！能登」をモットーにボランティア活動に尽力しています。

教室では作品を書くこと以外、現代美術展、石川の書展、東京都美術館の謙慎書道会等に展示、出品しています。又毎年四月三日聖徳太子十七条憲法制定日に研修バス旅行を実施しています。過去に高岡市国泰寺、国宝瑞龍寺、国宝勝興寺、本年は福井小浜市国宝明通寺を和の精神を伝える為の奉納揮毫を見学する親睦旅行を楽しみにしています。来年は何処でしょうか！尚、受賞祝賀会を十一月十

四日（金）、金沢東急ホテルで実施します。同受賞の戸丸彰子さんの司会により、村山市長ご夫妻がご臨席されます。



文化活動賞贈呈式の阿部豊寿先生

時代の生きがいづくりに向けて

高砂大学院OB生きがい会
副会長・幹事長 同窓会相談役
一〇六期三組 轟 健正

昭和四十七年「生甲会」（生き甲斐を経る）として発足した当会は、来年五十五年の節目を迎えるのを機に、川西会長のもと、組織の改編と二大事業、学習会（月一回）・旅行会（年二回）の充実強化に取り組み、会員（二六〇余名）満足の徹底をはかる。

一 学習会三本柱による生き

がい追求

次の活動を主軸に、視野を拡大し、内外への興味と関心を深め、会員の生きがいづくり、意識向上につなぐ。

（一）一般教養をはじめ、身の回りの知識、日常生活に有益

な幅広い情報を得る。（健康・医療・防犯・文化・芸術・時事）

（二）居住する地域の知識を深め、郷土愛を育む。（金沢の歴史・文化・伝統・習慣・街づくり・将来展望等）

（三）講話・音楽・諸体験を通じ、日々の癒し、意欲促進、フレイル予防につなぐ。

二 旅行を通じた視野拡大と交流促進

（一）その時々々のタイムリーな企画により、新しい発見と話題づくりにつなぐ。

（二）会員ニーズに即した企画を取り入れ、参加者を増やし、相互の親睦を深める。

当会は、高砂大学院グループのはしり、との自負のもと、これまでの実績を継承しつつも、時代の変化や価値観の多様化に即応し、将来を見据えた施策と情報発信を通じて会員増強をはかり、存在感を発揮して行く。



OB生きがい会の講演を受講中

高砂彦三クラス会			第九十六期会二組			第九十八期会三組(九八一二会)			第一〇一期会二組(櫻会)			第一〇二期会二組(ほほえみ会)			第一〇三期会二組(ひむろ会)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
会長	木村昭雄	顧問	小西優	相談役	蓑谷郁夫	会長	小坂進	会長	岡田淑子	副会長	岡田淑子	副会長	飯田勝雄	会長	酒井恵子	副会長	菊池悟	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長	田中鈴子	副会長

新年明けまして

おめでとうございます



第一〇四期会三組(あじさい会)										第一〇五期会三組(きずな会)										第一〇六期会三組(一〇六のころ)										第一〇八期会三組(かがやき会)										第一〇九期会三組										第一一二期会三組																													
会長 川西 幸夫 副会長 岩崎 辰夫 会計 中村 清 外会員一同										会長 水上 紘宇 副会長 須田 郁子 会計 川守 久子 会計監査 福島 幸洋										会長 安田 誠治 副会長 今本 和枝 副会長 笠田 照香 会計 笠松 雅明 監査 坂本 一枝 監査 岡谷 蓉子 外会員一同										会長 山本 省三 副会長 田中 隆夫 副会長 源田 孝子 会計 宮嶋 崇行 監査 吉本 哲 監査 波本 厚子										ほほえみ会 会員一同										いーじい会 会員一同																													
第一〇四期会三組										第一〇六期会三組(いきいき会)										第一〇八期会三組(いいね一〇八会)										第一一〇期会三組										第一一二期会三組(いーいさ会)																																							
椎の木会 会員一同										班長 小島(美智子) 班長 三輪 武司 班長 北間 信勝 班長 本 信子 外会員一同										会長 轟 健正 副会長 野村 智恵子 副会長 北 清一 副会長 細川 優美子 監査 伊藤 澄子										会長 坂井 信明 副会長 宮本 順治 副会長 松本 松枝 会計 野村 利正 監査 宮本 房義 外会員一同										第一一〇期会三組 いいわー一〇期 会員一同 十五名										第一一二期会三組(トリプルワン二二)																													
第一〇五期会一組(元気会)										第一〇七期会一組(富士山会)										第一〇八期会三組(ひやくまんさん)										第二二期会三組(江ノ和義)										第一一三期会三組(Rいーいさ会)																																							
会長 西尾 欣一 副会長 村井 忠彦 副会長 松村 ほなみ 副会長 宮口 敬治 会計 勘村 洋生 監査 蔵元 千賀子 監査 越村 由紀子 班長 四十万 美智子 班長 蚊崎 恵美子 班長 木村 光治 班長 浅村 恵子 班長 永栄 和子 班長 山本 佳子 班長 海道 美知子 班長 才田 敏克										会長 天野 陽子 副会長 南 隆明 副会長 尾島 芳栄 副会長 鶴森 子 会計 井沢 義則 会計監査 井沢 義則 外会員一同										会長 島田 裕正 副会長 松山 幸江 副会長 松山 幸江 会計 宇野 澄子 幹事 坂井 正二										会長 廣岡 唯夫 副会長 近藤 清美 副会長 黒島 多嘉子 副会長 川守 佳明 監査 小倉 玲子 外会員一同										会長 藪内 隆 副会長 江野 和義 副会長 中澤 良一 外会員一同										会長 瀧本 知子 副会長 石黒 高心 副会長 小坂 新一 副会長 藤本 新一 会計 田中 桂子 書記 浦田 幸子 監査 中野 雅夫 監査 林 正人										会長 瀧本 知子 副会長 石黒 高心 副会長 小坂 新一 副会長 藤本 新一 会計 田中 桂子 書記 浦田 幸子 監査 中野 雅夫 監査 林 正人										会長 田中 清之 副会長 宮村 正市 副会長 沢田 美恵子 会計 沢田 美恵子 監査 笠間 峯夫 監査 薬師 多美雄 外班長・会員一同									

<p>第二一五期会三組 一一五ゴールド会 会員一同</p>	<p>第二一五期会二組 (いいえん会) 役員・班長 会員一同</p>	<p>第二一四期会三組(いよき会) 会長 福原昌恵 副会長 勝川敏子 副会長 高岡菊代 会計 林早苗 監査 早川正幸 監査 横田木良 外会員一同</p>	<p>第二一四期会二組(いよ水曜会) 会長 角島章 副会長 清水和雄 副会長 流清水裕一 副会長 丸川靖子 会計 岡田修一 監査 柳澤喜代美 幹事 岡野克己</p>
<p>高砂紙細エグループ 会長 小島美智子 会計 久米憲子 会計 田尻知恵子 教材 小泉春代 外会員一同</p>	<p>高砂マクラメサークル 代表 源田孝子 会計 滝田都 総務 中野満子 外会員一同</p>	<p>高砂石路句会 指導 原篠義治 会長 松田寛 副会長 表和子 会計 杉江隆 監査 中野吉隆 外会員一同</p>	<p>高砂雪椿句会 講師 南邦夫 代表幹事 宮本順治 副幹事 酒井高三 副幹事 宮本義三 幹事 花岡悦子 幹事 山本鉄男 幹事 斎藤きよみ 幹事 幅崎陽子 幹事 作田節子</p>
<p>高砂合唱クラブ 代表 平能静子 副代表 今村治代 副代表 上田敏子 外会員一同</p>	<p>高砂着物リサイクル会 会長 塩土加代子 会計 瀧本知子 監査 本保松枝</p>	<p>高砂レザークラフトサークル 代表 横山幸子 川畑裕子 中島隆一 高村富美枝 講師 加登由紀江</p>	<p>高砂手編サークル 会長 北野博子 副会長 川下美和子 副会長 山本幸子 会計 山本幸子 監査 桶川外美 外会員一同</p>
<p>高砂歌謡クラブ 特別講師 沢田玲子 講師 出戸ひとみ 会長 中村聡 副会長 諸橋重紀 総務部長 清水健二 会計部長 杉谷理夫 次長 藤田典久 総務担当 今本和枝 総務担当 源本時子 総務担当 石橋和子 監事 三輪武司</p>	<p>高砂J・ハープクラブ 講師 下野和子 会長 福田登紀子 副会長 指江敬二 会計 河崎和江 外会員一同</p>	<p>高砂民謡会 講師 加賀山光男 中村武夫 越田恵子 副会長 朝日向子 副会長 村田喜子 会計 脇坂喜子 会計補佐 朝日向子 会計補佐 土谷清二 監査 外会員一同</p>	<p>高砂謡曲教室(高謡会) 講師 田屋邦夫 会長 柳瀬彰一 副会長 和田良恵 副会長 春山清正 副会長 野村利正 会計 島田裕正 監査 増江俊郎 幹事 松波宏子 幹事 宮崎竹子</p>
<p>高砂琴路会 会長 瀧本知子 監査 浅野ひろ子</p>	<p>高砂ハーモニカクラブ 講師 村中澄子 細川優美子 会長 轟健正 外会員一同</p>	<p>高砂かがやき懐メロクラブ 講師 高本マサキ 副会長 松田寛昇 副会長 清水良子 副会長 藤井美智代 監査 諸田富夫 理事 龍瀧聖代 外会員一同</p>	<p>高砂金沢ひびき会 講師 村中澄子 細川優美子 会長 轟健正 外会員一同</p>
<p>高砂らくらくピアノクラブ 講師 笠間祐子 会長 高寺恒雄 副会長 西本幹夫 副会長 薮内隆夫 会計 杉谷理夫 監査 諸田富夫 外班長・会員一同</p>	<p>高砂草笛愛好会 会長 藤田徹 理事 山口茂範 会計 蚊崎恵美子 監事 木村昭雄</p>	<p>高砂かがやき懐メロクラブ 講師 高本マサキ 副会長 松田寛昇 副会長 清水良子 副会長 藤井美智代 監査 諸田富夫 理事 龍瀧聖代 外会員一同</p>	<p>高砂ハーモニカサークル 講師 猿谷朗子 会長 戸水徹 副会長 宮崎誠一 副会長 中嶋早苗 会計 東亮一 監査 山田節子 幹事 蚊崎恵美子 幹事 片山初子 幹事 小馬豊子 幹事 黒島多喜子 幹事 藤堂敏子 幹事 矢野志津子</p>



高砂オカリナクラブ

講師	有松理恵
会長	木下幸子
副会長	瀬戸俊一
副会長	野島昭子
会計	塩嶋美知子
幹事	法村理枝
幹事	加賀谷法子
幹事	小泉純子
幹事	山本和子
幹事	吉田朋子
会計監査	

高砂ひまわり会

講師	島田晴苗
会長	碓井多恵子
会計	忠村好美
監査	下千恵子
外会員一同	

高砂ダンス教室

講師	小川清美
講師	松田浩一
会長	橋本啓介
副会長	中村清
副会長	坂下啓子
会計	松下真澄
会計	寺田悦子
総務	中黒雅子
監査	山岸正
監査	本田絹枝
1班班長	山岸正
2班班長	古田幸子
3班班長	浅野俊一郎
4班班長	岡田善雄

高砂ダンス同好会

講師	山本佐和子
講師	山本利春
講師	窪基義
会長	土井応一
副会長	西川俊子
総務運営	鷲森悦子
総務運営	杉本豊子
会計	泉義信
会計	指江ユキ子
運営	荒川清吉
運営	野村静子
監査	小林玲子

高砂ダンスサークル

会長	小村良昭
副会長	今川静夫
副会長	安納洋子
会計	吉田千代子
会計	須村多津子
幹事	角島憲章
幹事	山本憲一
幹事	油田美悦子
幹事	栃木悦子
幹事	天日美貴子
幹事	木村美貴子
幹事	中村美智子
幹事	本郷美智子
会計監査	
外会員一同	

高砂フラダンスクラブ

講師	竹澤佐江子
会長	山本和子
副会長	崎田美枝子
会計	澤田桂子
監査	藤田八重
幹事	一同

高砂煎茶翠会

講師	竹内香眞
会長	神保美都
副会長	伊藤妙美子
会計	高山外美
監事	山本静

高砂寿雪書道会

講師	阿部寿雪
講師	阿部豊寿
顧問	後藤清之博
会長	沼田奈津子
副会長	北条まゆみ
会計	東和枝
会計監査	越野芳枝
総務	田尻直子
総務	平田祥子
幹事	吉村幸枝
幹事	石田文江
幹事	山口清子
幹事	山上佳代子
幹事	池田裕美子
幹事	一同

高砂抹茶クラブ

講師	中川宗邦
会長	土生淳
会員一同	

高砂太極拳クラブ

講師	藪田美樹子
講師	品川享子
相談役	西川外次
相談役	蓑谷郁夫
会長	岩崎辰夫
副会長	岡野克己
副会長	河内加代子
事務局長	街道美代子
会計	本田明子
会計監査	村端富子
会計監査	牟礼絹江
幹事	福田京子
幹事	源本時子
幹事	村本喜美子
幹事	村端富子
幹事	宮鍋愛子
幹事	四十万谷美智子
幹事	藪内孝昭
幹事	西村孝昭
幹事	一同

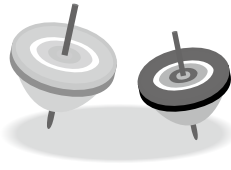
高砂生け花教室

講師	小林幸甫
代表	平田さき子
会計	釣見八重子
二上久恵子	
寺本信子	

高砂グラウンドゴルフクラブ

会長	桔川英男
副会長	宮口敬治
兼広報	坂前加志子
副会長	石井利雄
相談役	中佐重夫
事務局長	流佐一八
事務局長	五郎島純子
会計	藤農照一
会計監査	布かをり
指導員	斉藤亮
第1班班長	今森勝彦
第2班班長	関菊雄
第3班班長	川崎常蔵
第4班班長	古林満
第5班班長	林正人
第10班班長	本田絹枝
第11班班長	上野悦子
第12班班長	岡谷蓉子
第13班班長	木田清子
外クラブ員一同	

高砂創作絵画会										高砂Mメールウォーキングクラブ										高砂歩の歩のクラブ										高砂ボランティア会										高砂デジカメクラブ										高砂シニア健康麻雀教室										高砂英会話レッスン会										高砂食と筋トレクラブ										高砂パソコンクラブ									
会長	浦孝三	副会長	高橋孝一	副会長	武田恵子	会計	高橋己春	会計	国井美知子	監査役	川端瑞恵	1班班長	新田喜美恵	2班班長	喜多紀恵	3班班長	中山政子	1班副班長	北村千代子	2班副班長	山根敏子	3班副班長	山村根光恵子	事務局長	流裕一	事務局長	紙谷登起子	事務局次長	東和枝	会計	山上昭子	副会計	今村治代	理事	伊藤妙美子	理事	神保久子	理事	進地邦子	理事	瀧田江美子	理事	高橋己春	理事	中村佐和子																																												
会長	小坂進	副会長	蔵田武男	副会長	岡田淑夫	副会長	川西幸子	副会長	越村由紀子	副会長	西尾幸昭	1班班長	喜美恵	2班班長	喜多紀恵	3班班長	中山政子	1班副班長	北村千代子	2班副班長	山根敏子	3班副班長	山村根光恵子	事務局長	流裕一	事務局長	紙谷登起子	事務局次長	安田誠治	副会長	蔵田武男	副会計	池上直一	兼副会計	柳田信子	副会長	坂本一枝	会計	河島育江	監査	米村みさ子	監査	藤藁良博	外会員一同																																													
顧問	小屋忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																												
顧問	三門敏雄	会長	河川敏明	副会長	外山郁生	副会長	中野繁子	監査	堂下進	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ																																										
顧問	姉崎幸雄	講師	米岡三郎	講師	松本純一	講師	五社俊幸	副会長	村江智恵子	副会長	寺本信子	副会長	安部みどり	副会長	井高弘美	副会長	荒川清吉	副会長	久保善次	副会長	平能静子	副会長	中川外志子	副会長	白崎彰	副会長	能登司	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																								
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																								
顧問	三門敏雄	会長	河川敏明	副会長	外山郁生	副会長	中野繁子	監査	堂下進	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ	外スタッフ																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																									
顧問	小室忠男	会長	宮本房義	副会長	本保松枝	事務局長	新保靖義	会計	古林千代子	会計監査	舟木理	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同	外会員一同																																																



高砂大学院OB生きがいの会	顧問	顧問	会長	副会長 管理部長	副会長 事業部長	副会長 幹事長	管理部長 副部長	管理部長 副部長	平	蚊	中	山	浦	竹之内	藤田	吉田	佐野	吉	横山	中本	田村	外事員一同
	平田昭一	若山和洋	川西幸夫	宮口敬治	舘洋一	轟健正	須田郁子	平能静子	蚊恵美子	中島君子	山本佳子	浦幸子	竹之内町子	藤田良佐	吉田栄子	佐野千里子	吉紀美枝	横山幸子	中本洋子	田村姿婦子		

相談役	會長	總務担当 副会長	學習担当 副会長	旅行担当 副会長	自主研究担当 副会長	會計担当 副会長	總務担当	總務担当	總務担当	學習担当	學習担当	學習担当	學習担当	學習担当	自主研究担当	自主研究担当	自主研究担当	山井茂範	坂下千鶴子	坂本啓子	徳野ヒコ子	栗絹代	宮妙子	川畑裕子	北清一	木下幸子
谷内賢正	藤堂昭雄	西尾欣一	藤堂昭雄	藤島寛仁	外山郁生	清水和雄	岡田修一	舟橋弘美	徳田幸子	宮村正市	越村由紀子	横山幸子	西山和子	中島隆一	越村由紀子	流房恵	山口茂範	桜井千鶴子	坂下啓子	坂本啓子	徳野ヒコ子	栗絹代	宮妙子	川畑裕子	北清一	木下幸子

[illegible]

事務員	理事 （監事）	副理事 （監事）	副理事 （會計）	副理事 （會計）	副理事 （広報）	副理事 （広報）	副理事 （演芸交流）	副理事 （演芸交流）	副理事 （演芸交流）	副理事 （作品展示）	副理事 （作品展示）	副理事 （作品展示）	副理事 （体育）	副理事 （体育）	副理事 （体育）	副理事 （福祉・渉外）	副理事 （福祉・渉外）	副理事 （事務局）	副理事 （事務局次長）	副理事 （事務局次長）	相談役	相談役	相談役	相談役
-----	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	-------------	-------------	-------------	----------------	----------------	--------------	----------------	----------------	-----	-----	-----	-----

堀寺新山斎新岡小下藤江藤笹横白瀧矢木久福高泉藤轟安田
川下保岸藤保田馬村農野井尾山崎本田村田原澤屋堂 田中
佳勇信洋き信修豊満照和美 幸 知清昭恵昌忠和昭健誠清
子一子子み子一子子一義代登子彰子美雄子恵雄雄雄正治之
(兼)

ホームページを見ましょう

日頃の様子を
発信しております！

高砂大学校同窓会HP
詳しくはコチラ➡



生涯学習の県下最大の組織 「高砂大学校同窓会」のホームページへようこそ。
会員向けの事業実施要綱のお知らせ及び実施事業の記録を中心に発信しています。

掲示板➡	行事予定	クラブ活動➡	プロフィール	たかさご新聞
金沢市広報 ➡	高砂一座 ➡	高砂大学校 ➡	会員協力店 ➡	みんなのリンク集

携帯電話「スマートフォン」で見る方法



※例：らくらくスマートフォン

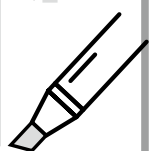
- 1 ホーム画面の【Google ㊦】をタップする。
- 2 【G 検索 ㊦】の画面となる。「高砂大学校同窓会」とはっきりした声で話す。高砂大学校同窓会や類似名が表示される。その中から高砂大学校同窓会をタップ。上の画面が出ればホームページです。
- 3 《掲示板》《行事予定》《たかさご新聞》等のところをタップするとそれぞれの画面表示となる。
- 4 「たかさご新聞」を見るには、タップした後、発行月の右端欄（タップ!）の〇〇月号をタップする。読みたいところに移動し、読みやすいように拡大する。（逆に拡大して読みたいところに移動する）

PCのインターネットで見る方法



- 1 検索画面で「高砂大学校同窓会」と入力し、検索をクリックする。
- 2 項目画面となり、『高砂大学校同窓会石川県金沢市の生涯学習セミナー「高砂…」』を選んでクリックする。上の画面が出ればホームページです。更に見たい項目を選んでクリックする。試してみましょう。

たかさご新聞と 同窓会だよりへの 原稿投稿のお願い



「たかさご新聞」は毎月発行し、「同窓会だより」は、年2回（7月と1月）発行しています。同窓会主催イベントやサークル活動やクラス活動等を掲載し、情報発信しています。

サークル内で、積極的に取り組まれているテーマ、コミュニケーション活性化、会員減少傾向対策等を投稿して頂けると、読者の興味を引く記事にできます。発表会開催等のサークル単独イベントの連絡を頂けると、取材訪問します。クラス会活動では、班長会議等のクラス会運営や年間計画等の立て方等のクラス会活動を活性化させる工夫点を投稿頂けると他のクラスの参考になります。クラス会仲間との食事会や景勝地等訪問で楽しかった思い出等を投稿頂けると記事の関心度が高まります。

文字だけでは無く、活動中の写真や集合写真等を添付して頂くと、読書目線をキヤッチできます。

文書量は、500～800文字でお願いします。原稿は、USBメモリやメールで投稿して頂く、編集スタッフの作業量が軽減できます。ご協力をお願いします。

編集担当より

2026年度 行事カレンダー

4月▶ **14日(火)**

令和8年度総会

会場 彦三館大研修室

▶ **17日(金)**

第1回クラス会長会議

会場 彦三館大研修室

5月▶ **7日(木)**

第1回グループ代表者懇談会

会場 彦三館大研修室

6月▶ **9日(火) [予定]**

第46回すこやか体育まつり

会場 金沢市総合体育館

7月▶ **7日(火)**

リーダー研修会

会場 彦三館大研修室

8月▶ **1日(土)～2日(日)**

第44回作品発表会

会場 彦三館全館

9月▶ **1日(火)**

第2回クラス会長会議

会場 彦三館大研修室

10月▶ **1日(木)～7日(水)**

共同募金活動への協力

会場 金沢市内

▶ **16日(金)**

第48回生きがい演芸発表会

会場 金沢市文化ホール

▶ **25日(日)**

金沢マラソン応援

会場 金沢市内

▶ **27日(火)**

秋の日帰り研修旅行

12月▶ **1日(火)**

第3回クラス会長会議

会場 彦三館大研修室

▶ **8日(火)**

第2回グループ代表者懇談会

会場 彦三館大研修室

令和9年

1月13日(水)**新春の
つどい**

会場：ホテル金沢